



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ

9月

VOL.230

もくじ

P1 ヤマトサウルス・イザナギ P2 南あわじ市シオスポット P3 五斗長垣内遺跡 P4 石の寝屋古墳群 P5 古墳ロード・大炊神社・都志本村の石櫃 P6 淡路文化会館・淡路県民局からのお知らせ・淡路島くとうみ協会からのお知らせ P7,8 淡路の文化活動・イベント情報

BACK TO THE AWAJI

古代の淡路にタイムトリップ

2004年に洲本で新種の恐竜の化石を発見!

ヤマトサウルス
下あごの一部→

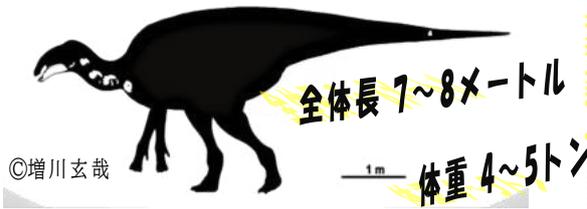


ヤマトサウルスの見つかった化石の部位 提供:兵庫県人と自然の博物館



ヤマトサウルス(左)とカムイサウルスの復元画

服部雅人さんの復元画



©増川玄哉

ヤマトサウルス・イザナギ

「伊弉諾(イザナギ)の倭竜(やまとりゅう)」

この恐竜の全体長は7~8メートル、体重は4~5トンと推定され、学名は古代の日本を示す「倭(やまと)」と、淡路島が「国生み神話」の舞台であることにちなんで、神話に登場する神「伊弉諾尊(いざなぎのみこと)」から、ヤマトサウルス・イザナギ」と名付けられました。

イザナギ・イザナミの「国生み」によって日本国土が誕生したといわれていますが、その最初にできたのが淡路島です。新属新種の恐竜化石が淡路島で発見され、「伊弉諾(イザナギ)の倭竜(やまとりゅう)」という意味を持つ「ヤマトサウルス・イザナギ」と命名されたことは、とても嬉しいですね。

(応援隊: 田処 吉久)

淡路島は地質学的に貴重な場所

淡路で見つかった恐竜の化石



30数万年前

ナウマンゾウの一部(鳴門海峡)

7000万年前
アンモナイト

7000万年前
アズダコ科翼竜の一部
(南あわじ市)

淡路は昔
ジュラシックパーク
だったんけ?



7000万年前
ハドロサウルスの一部
(洲本市)

© Google Earth

応援隊ジオスポットをめぐる。



南あわじ市ジオスポット

科学的に見て価値のある地形や地質遺産

淡路島の南部では和泉層群、大阪層群と呼ばれる地層が数多く点在し、特に和泉層群の地層からはアンモナイトの化石が発掘されることで知られています。

南あわじ市灘にお住まいの野田さんは、「兵庫県人と自然の博物館」の研修員。2004年に国内では2例めの翼竜の化石を県立ふれあい公園で発見されています。



南あわじ市には、ジオスポットがいっぱいあるんですよ。

「南あわじ地学の会」会長

野田 富士樹さん

今回は、国立淡路青少年交流の家のご厚意により船を出していただき、野田さんの操舵で海から案内していただきました。迫力ある大きな地層を海から見る事ができ、野田さんのわかりやすいガイドも相まり、とても貴重な体験をすることができました。また、和泉層群の地層は福良湾から鳴門岬かけての海岸線でも多く見られます。福良湾からの観潮船に乗る機会があれば渦潮だけでなく、ぜひ海岸線の雄大な地層にも目を向けてください。

阿万海岸から吹上の浜、押登岬までの海岸線では和泉層群の地層が多く見られます。和泉層群は約7000万年前の白亜紀後期の地層で、砂岩、泥岩の層が互いに重なり、コントラストのはっきりした縞模様が特徴です。

白亜紀後期の和泉層群



約7000万年前の地層



大阪層群

川のたい積による地層



大阪層群には、いろいろな石がゴロゴロ～

大阪層群は約300万年前の地層であり、旧南淡町から西淡、三原、五色にかけて幅広く分布しています。砂や礫、粘土の層から構成されており、全体に白っぽく比較的砕けやすいのが特徴です。大阪層群の地層からは良質な粘土が多く採掘されることから、淡路島では昔から瓦やタイルが盛んに作られてきました。

良質な粘土が採掘される大阪層群の地層

この土で淡路は粘土やタイルの産地になったんだね。



地層マニアの聖地? 和泉層群と大阪層群がいっぺんに見られる丸田海岸の不整合面!

野田さんに面白いスポットがあると案内されて行ったのは、阿万海水浴場から東に約1km離れたところにある丸田海岸です。そこでは和泉層群(約7,000万年前の層)、の上に新しい地層(数万年前)が直接重なり、その違いが見てははっきりとわかるとても不思議な地層でした。このように時代が大きくかけ離れた地層が直接重なり合う面を不整合面と言い、とても珍しいことだそうです。



新しい地層

和泉層群

アンモナイトとったどー



緑の道しるべ 阿那賀公園

「緑の道しるべ 阿那賀公園」の周辺では和泉層群の地層が露出しており、昔からたくさんの化石が発掘されています。中でも、「異常巻き」と呼ばれるアンモナイトの化石が数多く発掘されています。突然ですが、ビッグニュースです!「アンモナイトとったどー」。取材中、海辺に転がる岩石を見ながら歩いていると何やら模様が入った石が…。すぐに野田さんに見てもらおうと、「間違いなくアンモナイトです」との事。異常巻き的一种で、「プラビトセラス」の種ではないかと言われました。一日中探し回っても見つからないのが当たり前なのに、とってもラッキーでした。

今回の取材地域以外にも、伊加利や広田の県立ふれあい公園、由良内田地域、灘の海岸線等、淡路島には数多くのジオスポットがあります。みなさんも機会があればぜひ訪れてみてください。新たな発見があるかもしれません。(応援隊:坂本 厚子、村上 紀代美、川原 雅代)

五斗長垣内遺跡(ごっさかいといせき)は、淡路西海岸から約3km、標高200mの丘の上にあります。神戸淡路鳴門自動車道北淡インター出口から山の方へ、車で5分位、徒歩で45分位の距離を移動すると、五斗長垣内遺跡活用拠点施設が出迎えてくれます。

拠点施設から外へ出ると、東西約500m、南北約50mの尾根の上に23棟の竪穴建物跡が広がっています。その内12棟が鉄器を作っていた鍛冶作業場であることがわかりました。最初の建物跡では石の矢じりの石器、お祀りに使う特別な土器・板状鉄斧などが次々と発見され、100点を超える鉄器が見つかりました。また矢じりなどの道具も発見されました。一番大きな建物跡は直径10.5m、柱の数は10本の大型建物で、これと同じ大きさの「ごっさ鉄器工房」が建てられ、鍛冶体験などが行われています。



ボランティアで遺跡を守る「五斗長の風」 遺跡で発見された方形の竪穴住居を復元



一番大きな建物は、直径10.5m、柱の数は10本



資料室



志筑川の葦



柱づくり、周堤づくり、柱の設置、垂木の据え付け、茅ふき作業。。

この建物は、すべてボランティアが作りました。

2004年(平成16年)台風によりため池が決壊し、その後、5年かけて復旧事業に伴う発掘調査で五斗長垣内遺跡を発見し、2019年に史跡公園としてオープンしました。2018年から史跡・五斗長垣内遺跡では、遺跡の案内や体験活動の補助を行うボランティア養成講座を開設し、弥生時代の暮らしや環境を学び、豊かな自然の中で、人と接しながら淡路島の歴史を伝え残す活動をしています。

「五斗長の風(ごっさのかぜ)」と名前をつけ、3年間の講座の中で、竪穴建物の復元や小学生の体験学習の補助だけでなく、体験活動の道具の準備や遺跡の整備にも参加しています。遺跡で発見された方形の竪穴建物を復元しました。作業にかかる前に、模型で竪穴建物の構造について学習しました。

復元作業は、柱を準備するところから始まり、山から切ってきた木の固い表皮に苦労しながら柱の皮をむき、建物の要となる柱づくりを行いました。それから周堤づくり、柱の設置、垂木の据え付け、茅ふき作業など、完成までにかかった作業日数は34日でした。完成した時は、わが子の誕生のように感動されたそうです。

これからも「五斗長の風」を皆様に気持ちよい風になるように、また遠い昔、大先輩たちが残してくれた遺産を後々まで申し送りたいと思っていますと、話していただきました。その表情は元気いっぱいでも夢見る青年のような雰囲気でした。本当に爽やかな風が吹いていました。

(応援隊 廣岡ひろ子)



所要時間約50分 総歩数約5,000歩の散策コース



標高245mの高台にある360度見渡せる海峡展望台



ビオトープ

古代人は、いい場所に古墳を作っていますネ

先見の明がありますね!



～歴史を感じながら絶景目ざしてハイキング～

あわじ石の寝屋古墳群

6世紀後半、明石海峡を一望する高台に築かれた古墳群。岩屋の海に真珠を取りに潜った海人(あま)の男狭岩(おさし)が眠っていると言われている。

兵庫県立あわじ石の寝屋緑地 9:00～17:00 淡路市岩屋茂谷2009-3



「県立あわじ石の寝屋緑地」は、平成27年4月に開園した県立の森林公園です。元々この場所には6世紀後半の「石の寝屋古墳群」があり、岩屋の海に真珠を取りに潜った海人(あま)の男狭岩(おさし)の伝説が言い伝えられています。その遺跡と周辺の森を中心に、散策道や3箇所の展望台が整備されています。

標高差174m、一周約2,000mの一般向けルートは、所要時間約50分総歩数5,000歩ほどのコースです。標高差があるため帰路は足の筋肉がピクピクしました。(足場が悪いところがあるので、足元には十分ご注意くださいね。)

見どころは、標高245mの高台にある360度見渡せる海峡展望台です。展望台から見える世界最長の吊り橋、明石海峡大橋に感動。ウバメガシやコナラの林を散策していると、大型猛禽類のトンビが頭上2mをかすめ、ウェルカムのご挨拶。道中では、黒揚羽蝶や青条揚羽蝶の舞い踊り♪また、ここは旅する蝶として有名なアサギマダラの経由地です。

足元の里山と自然と、目の前にある270万都市と150万都市、それを支える交通インフラ、青い海、白い雲、澄んだ空気、おいしい水・・・明石海峡に展開する自然とそこに暮らす人々の日常生活。かつて日本人が里山を通して自然と密接に関係し暮らしてきた、精神文化なのかもしれません。歴史を感じながら自然と戯れ、こころのリフレッシュしてみませんか・・・

(応援隊：竹代 結)



こんな絶景見たことないっ!



アクセス

淡路IC出口から道の駅あわじ方面に3分ほど車を走らせると、道路案内「県立あわじ石の寝屋緑地」の表示が出てきます。表示に従って、高速道路の下をくぐり抜けると駐車場に到着です。

ゴミ箱はありません。ゴミは持ち帰りましょう。



～応援隊流絶景の楽しみ方～

この場所は陸・海・空すべての交通の要衝

- (陸) 全長3,911mの明石海峡大橋は交通の要。交通量が多い橋を眺めていると、気になる車が見えるかも・・・?
- (海) 1日約800隻の船舶が通過します。大阪海上センターのホームページで、大型船の情報をチェック。
- (空) 関西3空港を発着する飛行機が飛び交っています。スマホのアプリで上空を飛んでいる飛行機の便を確認!

「淳仁天皇」=歴史に深い関心や知識がなくても、どこかで聞いたことがある名前です。権力争いに巻き込まれ、わずか6年で天皇の位を奪われた第47代天皇（在位758～764）。母親と数人のお供とともに淡路島に流され、33才の若さで亡くなりました。幽閉され、脱出しようとして殺された、自決したなど、悲しい伝説ばかりが今に残ります。南あわじ市賀集にある淳仁天皇陵。正式名称は淡路陵（あわじのみさぎ）。天皇陵のほとんどは京都、奈良、大阪に集中していて、ここは兵庫県唯一の天皇陵です。天皇が幽閉された場所だと伝えられている野辺の宮（南あわじ市）や 大炊神社（おおいじんじや 南あわじ市志知中島）。天皇が葬られたところだと信じられている高島稜（淡路市下河合）など、淡路には淳仁天皇にまつわる伝説地がいくつもあります。



兵庫県唯一の天皇陵



じゅんにんてんのうりょう
淳仁天皇陵



たいま
淳仁天皇の母 当麻夫人の墓



てんのはん行ってくる!

昔も今も人の心をつなぐ「てんのはん」

「てんのはん」は、淳仁天皇が眠る大炊神社の愛称です。



南あわじ市志知中島

おおいじんじや
大炊神社

淳仁天皇の埋葬場所と伝えられている杉の木の根元



↑
天皇が寒かろうと
村人がかけた霜よけの「こも」

「こも」の掛け替えは、
1200年以上たった今も続いている。

その中でも、印象深いのは大炊神社。ここの祭神はもちろん、大炊（おおい）と名を変えた淳仁天皇です。神社入り口の説明文には、「淡路島に配流された天皇がここに住み、この地で亡くなり遺体がここに埋葬された。住民はその死をいたみ、今でも霜よけの「こも」を編み、埋葬場所と伝えられている杉の木の根元にかけて天皇の霊を慰めている」とあります。天皇が寒かろうと、村人がかけた「こも」。こもの掛け替えは1200年以上も経った令和の今も続いています。神社の片隅には木々に囲まれた区画があり、奥には祠（ほこら）のようなものも。そして、村の人の手で毎年取り換えられている「こも」も見つかります。こもの下には永い眠りについている淳仁天皇が・・・そんな大炊神社に地元キッズは「てんのはんに行ってくる」と言って遊びに行きます。「てんのはん」は昔も今も人の心をつないでいます。（応援隊：村上 紀代美）



ウェルネスパーク五色で、古墳時代後期にタイムトリップ!?

市指定有形文化財

いえかたせつかん
都志本村の石櫃（家形石棺）



洲本市五色町都志1087 ウェルネスパーク五色内



「家型石棺」
淡路島ではここだけ

お散歩中に
歴史のお勉強♪



洲本市のウェルネスパーク五色で、古墳時代後期にタイムトリップしませんか？

公園内のおふさ茶屋の裏の坂道を少し上った所に、市指定の有形文化財「都志本村の石櫃（家形石棺）」があります。この石棺は、刳抜（くりぬき）式で蓋に突起のない形式の“家形石棺”です。材質は、播磨地方で産出される「竜山岩」（流紋岩質凝灰岩）で、蓋の形などから7世紀中頃から後のものと考えられています。以前に身の部分だけが見つかっていましたが、平成3年から4年にかけて行った調査で、側に埋まっていた蓋が発見されました。現在、蓋と身がそろって保存されている“家形石棺”としては、淡路島でただ一つのものです。

また、その後の調査でこの石棺が、古墳の内部で埋められた当時の位置をそのまま保っていることがわかり、「岡の谷古墳」と称されるようになりました。この古墳は、縦約2メートル（奥行きは不明）の「横穴式石室」を有する古墳と考えられていますが、現在は石室の奥壁と側壁の一部が残っているだけで、古墳全体の大きさや形は明らかではありません。

都志本村の石櫃は古墳時代後期の淡路島の様子を知る貴重な財産です。（応援隊：瀬戸由美子）



淡路文化会館からのお知らせ



★放水体験

★パトカー

元気っ子
集まれ!

わくわく体験ブース

- ☆竹と遊ぼう
 - ☆おはしリンピック
 - ☆紙飛行機飛ばしリンピック
 - ☆パソコンで作ろう 思い出カレンダー
 - ☆楽しい藤小物作り
 - ☆どんぐりでトロを作ろう
 - ☆アートバルーンとブンブン回し
- などなど18の体験ブース

— コロナ対策はしっかり行います —

国生みの島 元気っ子フェスティバル

日時:10月3日(日) 13:00~16:00 (雨天決行)
場所:県立淡路文化会館

— 事前Web(HP)受付による800名限定とします —

販売ブース

- ★カップケーキ・クッキー・ラスク
 - ★パウンドケーキ・クッキー …
 - ★淡路たまらん焼
 - ★たこ飯・ボン菓子・ケーキ
 - ★フランクフルト・やきとり …
- などなど5つの飲食・販売ブース

— 会場内は飲食禁止とします —

兵庫県淡路県民局からのお知らせ

未来を変えるエシカル消費

エシカルポイント①

エシカル消費とは、人や社会、環境に配慮した消費行動を意味します。買物をするとき、長く使えるか、環境にやさしい商品か等を考えて選ぶことや、リサイクル商品、資源保全の認証マーク等がついた商品を選ぶこともエシカル消費です。

エシカルポイント②

日々行っている消費行動は世界につながっています。例えば、福祉作業所や被災地で作られた商品、寄附付き商品、発展途上国から公平な取引がされている商品を選ぶことで、誰かの支援やより良い社会づくりになります。これもエシカル消費です。



エシカルポイント③

地元で生産されたものを地元で消費する「地産地消」を心がけましょう。地元産の食材を使うことにより、新鮮な食材が手に入るだけでなく、地域の生産者にお金が還元されることとなります。運搬費用や環境への負担も軽減され、エシカル消費につながります。

淡路県民局 交流渦潮室
県民・商工労政課 (消費者センター)
☎0799-26-3360 ㊟0799-24-6934



(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

☆第13回永田青嵐顕彰全国俳句大会 作品募集

淡路島が生んだ偉人、永田青嵐を顕彰する俳句大会を開催するため、広く作品を募集します。

投句要領: 未発表の近作1人2句以内(有季定型・投句料無料)。本大会投句用紙又は任意の様式に必要な事項を明記の上、郵送で申し込みください(FAX又はE-mail、ホームページからの投句も可能です)。

募集部門: (1)一般の部 (2)学生(小・中・高校生)の部

投句締切: 令和3年9月30日(木)まで

☆「第9回淡路花祭フォトコンテスト」入賞作品の巡回展示

淡路島内の花の名所の感動をテーマに募集したフォトコンテストの入賞作品を展示します。

■美菜恋来屋(9/1(水)~9/29(水))

■グランドニッコー淡路
(10/1(金)~10/14(木))

■洲本市文化体育館
(10/16(土)~11/7(日))

申込・問い合わせ先: (一財)淡路島くにうみ協会
電話: 0799-24-2001 FAX: 0799-25-2521
Eメール: awajishima@kuniumi.or.jp
ホームページ: <http://www.awajihanamatsuri.com/>



ご注意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆淡路市立しづかホール

所 〒656-2132淡路市志筑新島5-4
 ☎ 0799-62-2001 ☎0799-62-6465
 Mail : info@shizukahall.com
 休 火曜日

**しづかホールホワイエ展示会
 ~淡路市内小学校児童作品展~**

日 9月11日(土)~9月20日(月・祝)
 9:00~17:00 (火曜日:休館)
 会 淡路市立しづかホール ホワイエ
 入場無料

しづかマルシェ&アイランド音楽祭

毎年恒例のしづかマルシェを今年も開催。屋内外合わせて33ブース。(予定)

日 10月10日(日)
 マルシェ10:00-16:00
 アイランド音楽祭
 13:00-16:00 (予定)
 会 マルシェ:ホワイエ&駐車場
 アイランド音楽祭:ホール
 入場無料
 【問い合わせ】しづかホール
 TEL:0799-62-2001
 MAIL:info@shizukahall.com



◆淡路人形座公演案内

所 656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
 ☎ 0799-52-0260 ☎0799-52-3072
 Mail : awajiningyo@gmail.com

定時公演

○「人形浄瑠璃」『傾城可波の鳴門 順礼歌の段』
 日 9月2日(木)~9月6日(月)
 ○「淡路人形座 ええとこどり 或る夜の段」オープニング初演!
 日 9月18日(土)
 ○「戎舞+(プラス)」『淡路人形座 ええとこどり 或る夜の段』日
 日 9月19日(日)~9月30日(木)
 ※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。
 【定時公演】
 時 10:00,11:10,13:30,15:00
 料 大人1,800円 中高生1,300円
 小学生1,000円 幼児300円
 休 【9月の休館日】1日(水)、7日(火)~17日(金)、22日(水)、22日(水)

淡路人形座へご来座されるお客様へのお知らせとお願い

国及び自治体の定める新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づいて、感染予防処置を実施しております。お客様にはマスクの着用、手指の消毒、検温の実施等へのご協力をお願い申し上げます。

◆淡路市立サンシャインホール

所 〒656-2305 淡路市浦148-1
 ☎ 0799-74-0250 ☎0799-74-0256
 時 10:00~18:30
 休 毎週木曜日及び祝日の翌平日

第二十七回「ひがしうら寄席」

日 10月17日(日) 14:00開演
 ※出演予定 桂 九雀、林家 菊丸、笑福亭 生寿、桂 九ノ一
 料 チケット
 【前売】一般1,000円、70歳以上500円
 【当日】一般1,200円、70歳以上700円
 ※チケット販売開始 9月3日(金) から
 ※チケット販売場所 サンシャインホール
 しづかホール
 洲本市文化体育館

— イベント情報 —

野水正朝作品展「漢国写真帖」

1950年代から1960年代の淡路島を記録した作品。神事から始まって庶民の娯楽へと広がった淡路人形、若布刈舟など海の生活や馬の蹄鉄打ちなど農の生活、醤油樽を高く積み上げて運ぶ自転車や廃線間近の電車など、郷土への愛情をもって丁寧に写された作品の数々は、写真による風土記であると同時に昭和という時代の証言ともいえよう。

日 8月31日(火)~9月26日(日)
 10:00~17:00
 休 毎週月曜日
 会 東京都千代田区一番町25番地JCIIビル1階 JCIIフォトサロン(日本カメラ博物館)
 入場無料
 問 Tel : 03-3261-0300
 JCIIフォトサロン
 担当/白山・櫻井

第4回「樋口季一郎研究会」

「ユダヤ難民を救った男」樋口季一郎。隠れた郷土の偉人がテーマの研究会です。樋口季一郎のことを、広く周知していただくために、実施いたします。

【基調講演】
 演題:「樋口季一郎を知る」
 講師:投石文子氏(四国大学特認教授)
 【シンポジウム】
 「樋口季一郎が残したもの」
 「ゼネラル樋口記念大学開校について」
 【主催】樋口季一郎研究会

日 9月23日(木・祝) 14:00~16:00
 会 南あわじ市中央公民館
 料 200円(資料代など)
 問 同会会長 出田勇亀一(いでたゆきいち)
 ☎0799-55-1111、090-1157-2991

AWAJIN Fes 2021

淡路島で活動中の音楽演奏者、および淡路島に来られる演奏者、淡路島の各地で小規模で開催している音楽イベントの集約の意味合いと共に1年に一度の新しい例年開催の大型イベントとして定着を図っています。

日 9月26日(日) 12:00~20:00
 会 淡路夢舞台野外劇場(駐車場は夢舞台地下駐車場)
 料 チケット2,000円(小学生以下無料)
 問 主催:あわじ島援隊080-5062-5911
 須ヶ原之戸(スガワラユキト)

インフォメーション



お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆洲本市文化体育館

所 656-0021 洲本市塩屋1-1-17
 ☎ 0799-25-3321 ㊟0799-25-3325
 休 火曜日(祝日の場合は翌水曜日休館)

和太鼓フェスティバルin兵庫

出演団体

【淡路島内】高田屋太鼓、和太鼓 美鼓音、和太鼓 志童
 【兵庫県太鼓連盟】豊岡こうのとり太鼓 播州新宮越部太鼓、別所ともえ太鼓会 伊丹太鼓の会、南あわじ太鼓衆「葦」
 【特別出演】和楽器演奏集団 独楽
 ㊟9月5日(日)開場12:30 開演13:00
 終演16:00

㊟文化ホール 『しばえもん座』
 ㊟無料(入場整理券必要)
 ㊟和太鼓フェスティバル in兵庫洲本市実行委員会(洲本市教育委員会生涯学習課内)
 ☎0799-24-7631 (平日8:30~17:15)

交通安全ポスター入賞作品展

県下で募集した「児童・生徒の交通安全ポスター」優秀作品の展示。
 ㊟9月23日(木・祝)~10月3日(日)
 ㊟エントランス ㊟無料
 ㊟洲本市役所消防防災課

◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

所 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1
 ☎0799-36-2314 ㊟0799-36-5408
 休 月曜休館(月曜日が祝日の場合は翌日)

開館30周年記念 松帆銅鐸特別展(前期)「淡路島ゆかりの銅鐸展」

淡路島は、弥生時代の青銅器が多数出土している地域です。今回は保存処理を終えた松帆銅鐸2点を加え、はじめての里帰りとなる倭文銅鐸などを展示いたします。
 ㊟7月31日(土)~10月3日(日)まで
 時 9:00~17:00(入館は16:30まで)
 ㊟大人500円、高大生300円、小中生150円※小中生は「ココロンカード」又は「のびのびパスポート」利用可で入館無料
 ㊟詳しくは玉青館まで ☎0799-36-2314

ひょうご五国フォーラム

歴史の講演会
 ㊟9月25日(土)
 時 13:30~16:30
 ㊟文化ホール 『しばえもん座』
 ㊟無料(定員200名 事前申込必要)
 ㊟兵庫県企画県民部地域創生局 兵庫津ミュージアム整備室 担当/曾根
 ☎078-362-9014



◆淡路島国営明石海峡公園

所 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10
 ☎ 0799-72-2000 ㊟ 0799-72-2100

秋のカーニバル

秋花の開花に合わせて、フラワーガイドツアーや寄せ植え体験などを開催。
 ㊟9月18日(土)~11月3日(水祝)
 ㊟園内
 ㊟参加費はイベントにより異なる
 ※別途入園料、駐車料金必要

◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600
 ☎0799-85-1391 ㊟0799-85-0400
 時 9:00~17:00 ㊟観覧無料

今月の美術展示

〔令和3年度瀬路日本画セミナー色紙展〕

淡路文化会館の日本画セミナー受講生の作品展です。受講生の個性あふれる作品と描画技術の向上にご注目いただければと思います。
 ㊟9月10日(金)~20日(月)
 ㊟美術展示室 午前9時~午後5時

〔第15回松帆絵画サークル展〕

松帆絵画サークルの講師中野先生と生徒7名による作品を展示します。淡路文化会館では2回目の展示となります。それぞれの個性を大事にして、各自のテーマに沿って作品制作に取り組んでいます。
 ㊟9月23日(木)~30日(木)
 午前9時~午後5時 (最終日は16時迄)
 ㊟美術展示室



編集だより

古代の淡路にタイムトリップしましょう。今でも出会える歴史の現場に立つことでコロナ疲れが癒されるかもしれません。新しい自己発見になるといいですね。

(応援隊： 米田 静子)

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願ひします。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちら是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館 淡路文化会館運営協議会
 ㊟ 656-1521 淡路市多賀600
 ☎0799-85-1391 ㊟0799-85-0400
 E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.or.jp
 H P : https://www.awaji-bunkakaikan.jp/

私たちはポケットあわじを応援します。

